

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2022-55167  
(P2022-55167A)

(43)公開日

令和4年4月7日(2022.4.7)

(51)Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 B 10/00 (2006.01)	A 6 1 B 10/00 E	4 C 1 6 1
A 6 1 B 1/00 (2006.01)	A 6 1 B 1/00 5 1 1	
A 6 1 B 1/313 (2006.01)	A 6 1 B 1/313	
	A 6 1 B 1/00 R	

審査請求 未請求 請求項の数 9 O L (全 16 頁)

(21)出願番号 特願2020-162613(P2020-162613)  
(22)出願日 令和2年9月28日(2020.9.28)

新規性喪失の例外適用申請有り

(71)出願人 598015084  
学校法人福岡大学  
福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号  
(74)代理人 100099634  
弁理士 平井 安雄  
(72)発明者 早稲田 龍一  
福岡県福岡市城南区七隈八丁目19番1号  
学校法人福岡大学内  
Fターム(参考) 4C161 AA24 BB08 DD01 QQ04 RR04  
WW02 WW17

(54)【発明の名称】医療用蛍光装置

(57)【要約】

【課題】蛍光物質としてビタミンB2を使用し、不可視光の波長の光を励起光として照射することで直視下手術において肉眼で患部を認識することが可能となる医療用蛍光装置を提供する。

【解決手段】蛍光物質であるビタミンB2が注入された注入部位、及び当該注入部位に隣接する非注入部位に不可視光の波長の光を励起光として照射する照射手段を備える。不可視光の波長は255nm~365nmであり、特に肺の区域同定において経気道法を用いる場合は300nm~315nmの波長を励起光とし、経血流法を用いる場合は250nm~285nm又は365nm近傍の波長を励起光とする。

【選択図】図1

